令和元年6月号

アニ・マート

animato

アニマート（音楽用語）：『活発な、生き生きとした』という意

春日部セントノア病院
〒344-0001
埼玉県春日部市不動院野１１１２−１
TEL048−760−1200
FAX048−760−1201
http://www.saintnoah.jp/kasukabe/

病院短信

精神保健指定医
冨永　眞由美

『入職の挨拶』

初めまして。

この４月から入職した精神科医の冨永眞由美と申します。

私は大学卒業以来一貫として一般精神科臨床をしてきました。

精神科というと、かつては統合失調症等の精神病治療の科と思われていましたが、今はサラリーマンや主婦などのうつ病から適応障害・ＰＴＳＤ（心的外傷後ストレス障害）、ＡＤＨＤやアスペルガー症候群を含む発達障害などの「こころ」の病・障害全領域を網羅しています。

一方、今では脳外科や神経内科の先生方がメインになって診断をなさっている認知症ですが痴呆と呼ばれていた時代から精神領域の病気でした。

これらのことを知って驚かれる方は一般には多くいらっしゃいます。

そのため、私は認知症の事に関しては一通り知ってはいますが、認知症の方達への日々の看護・介護法・対処法はあまり慣れていないところがあると思うので皆さんに教えてもらうことも多々あると思います。

これからますます人口の高齢化・認知症の増加が確実になった現在、認知症に正面から取り組み患者さんと真摯に接していくことがますます大切になり、そうしたことのできる病院こそが生き残っていく時代になると思います。

当院に入職して間もないですが、今はご病気で休んでおられる佐々木先生が平成29年5月号のアニマートに既にお書きになっていた「パーソンセンタードケア」は今では精神神経学会の認知症教育講座でも提言されるものとなっており、大きな驚きとともに感銘を受けています。また、院長先生をはじめ皆さんのお仕事ぶりは、患者さんは勿論のことご家族に至るまで細やかなケアが行き届いており今までにない感動を覚えています。

まだまだ慣れず、戸惑うことも多い私ですが皆さんと一緒に働いていくことに大きな期待を持っている今日この頃です。

どうぞ宜しくお願い致します。

看護のひろば

３病棟　看護師
大谷内　文江

フレイル（虚弱）ってなに？
老化に伴い筋力や活動が低下している状態。また閉じこもり、意欲や認知機能の低下も含まれます。

サルコペニア（筋肉減少症）ってなに？
加齢や栄養不足、身体活動量の低下に伴う筋肉量、筋力、身体機能が低下してしまう症状。

フレイル・サルコペニア予防
１、筋肉を作る為に良質なたんぱく質を摂取
２、骨を強く保つ為にカルシウムを摂る
３、運動（ウォーキングやプールでの歩行など有酸素運動）

高齢者において筋肉を減らさない事はＡＤＬの維持、転倒予防にもつながる為重要になってきます。そのために食事や運動について日常生活で出来る事を取り入れてみてください。
フレイル・サルコペニアを予防し、健康で生き生きとした生活を送りましょう。

いきいき介護

１病棟　介護員
高橋　麻紀

患者さんで、よく戦争の時の話をされる方がいます。
特に弟や妹の面倒を見ていた時の話が多く、今でも背中に弟や妹がいると思っているようです。食事の時などは弟や妹を想い自分より先にスプーンであげる仕草をします。
その仕草を見て、優しい部分と辛い記憶が混じっていて少し複雑な気持ちになります。
入院中は、患者さんが少しでも楽しく過ごせるよう頑張ってサポートしていきたいと思います。

事務屋の独り言

「全世代型社会保障改革」の中の『予防医療』とは

常務理事　事務局長
瓦井　洋

過日、首相官邸で開かれた「未来投資会議」。このなかで、全世代型社会保障改革の大きな柱として安倍総理が提唱したのが『病気予防』や『介護予防』でした。

この会議より少し前、副総理兼財務大臣の麻生さんが、こんな発言をしたのを皆さんは覚えていらっしゃいますか。

『自分で飲み倒して、運動もしねえで、糖尿も全然無視している人の医療費を、健康に努力しているオレが払うのはあほらしい。やってられん』と言った「先輩」が、いた…と。

「先輩」が言ったのか、自分が言ったのかはともかく、この発言の根幹は『生活習慣病を自己責任で予防』し、『医療費を削減』する、というストーリーに他なりません。

このストーリー、当然、厚労省が発信元だと思いきや厚労省ではなく、財務省でもない。実は経産省のキャリア官僚の案だというのですから驚きです。そしてこの「案」は未来投資会議を経て、現在は「政府の方針」ともなっているのです。発案者のこの官僚は、厚労大臣の要請で経産省にいながら厚労省の幹部ポストも貰うという、厚労省も財務省もメンツ丸つぶれの、訳の分からない人事になっているのだそうです。

その人事はさておきこの官僚は、その案の中でこんなことも言っています。現行の制度で透析治療を受ける糖尿病の患者に手厚い支援があるのは『不摂生が得になる。生活習慣病を容認する制度』だと評し、（予防によって医療費を削れば）『公的保険制度は維持できる。その為には魅力的な健康管理サービスを提供するヘルスケア産業の育成が必要だ」…と。実はこれが安倍総理、すなわち政府のインセンティブになっているのです。

なるほどね。いかにも経産省の官僚が考え、安倍さんが賛成しそうな案ですよね。『病気を予防すれば、医療費を削減できる』。経産省がこんなメッセージを発し、内心の不満はともかく、それを表には出せずに押し黙っている厚労省。そしてこのメッセージに厚労省以上に苦々しく思っている財務省。この構図、とっても面白いと思いませんか。でもこれが、医療費削減を叫びながら何もできない安倍政権下の、そして各省庁・官僚の縮図なのです。

苦々しく思っている財務省のある官僚などは、病気予防の価値は認めつつも『予防が医療費を削減できると言ってきた厚労省でさえエビデンス（証拠）がないことは認めているのに、いまさらなぜそんな政策を進めるのか』と批判さえしているのです。

その昔、でもないですが、小泉政権下で歳出削減の強力な圧力を受けた厚労省は、「メタボ検診」などの生活習慣病対策で「25年度時点で２兆円の医療費を抑制する」と大見えを切ったことがあります。では、その後の「メタボ検診」や「生活習慣病対策」はどうなったのでしょう。

ある調査によれば、「メタボ検診」など生活習慣病対策の医療費抑制効果額は２００億円前後だという結果があります。一方で対策にかかる費用は、２３０億もかかるという試算もあります。つまり、厚労省が大風呂敷を広げた医療費抑制額は目標額２兆円のたった１％にしかならず、しかも対策の費用は抑制額を上回ってしまう、という何とも惨めな結果が出ているのです。

しかしこうしたデータは、安倍政権の上層部からストップが掛ったために、結局は公表されなかったそうです。そして財務省が作成した資料の中にあった『予防医療は重要な課題だが、一部にはむしろ医療費や介護費を増大させてしまうとの指摘もある』とか、東大教授の康永先生のコラムにあった『医療費や介護費を予防医療によって抑制することはほぼ不可能』などという提言は、ついに会議で日の目を見ることはなかったのです。

さて皆さん、メタボ検診をはじめとする「予防医療」や「生活習慣病対策」をどう思われます。

田巻院長＆現役職員＆元職員による

ピアノ＆大正琴

患者さんも熱唱

ピアノとの合奏
心地よい音色ですね❣

ふれあい看護の日

お昼の体操

患者さんと楽しく談笑

新緑の優しい太陽の下で

未来ある高校生にセントノア病院ならではの心を看るを体験していただきました❣

おやつパーティー

やはり美味しいものには顔がほころびますね

サラコーナー

鹿の角（歯磨き用）
取るふりしてサラ
池ダイブ
鹿の角
楽し～
気持ちい～♡

作業療法室だより

作業療法士
小島　大輔

爽やかな新緑の季節からじめじめとした梅雨が今年もやってこようとしています。元号も「令和」に変わり早や１か月が過ぎましたが、物心ついた時から平成に慣れ親しんだ私にはまだ少し違和感があります。

さて、今月の作業療法室だよりは『軽スポーツの会』を紹介したいと思います。『スポーツ』と聞くとすごく身体を動かすイメージがありますが、そこは皆さんご高齢ですので風船バレーや輪投げなど簡単に取り組めるようなものを行っています。

この会で圧巻なのは総勢１５名程の大人数で行っていることです。それだけの患者さんが集まると、デイルームでいつも大声を出している方、車椅子で日中眠ってしまっている方…同じ病気でも色々な方が集まります。しかし不思議なことに会が始まると皆さんが集中して取り組んでくれます。

会では元気な患者さんが眠そうにしている方を「ほら、目を開けて頑張って！」と励まして声をかけたり、デイルームで大声を出していた患者さんが輪投げなどを行うと自然に応援や拍手が沸き起こったり、本当に良い雰囲気で行っています。中でも入院されてから一度も笑顔を見せたことがないＳさんが声を出して笑った時は『作業療法士をやっていてよかったなぁ』と感じました。

認知症はすぐ忘れてしまう病かもしれませんが、こうした会のことは「あ、ここか！」「また隣になったね」と、何となく覚えていて楽しんでくれる患者さんが多いように感じます。活動を通じて人と人との繋がりが生まれ、入院生活が少しでも穏やかに過ごせたり活気が出たり…そんな場を作れるような作業療法士になれるようこれからも一層努力していきたいと思います。

スタッフ紹介

医事課
相馬（そうま）　紀子（のりこ）

星　座：うお座
血液型：Ａ　型
趣　味：韓流ドラマ

私にとって大切な時間は、家族との団らんはもちろん、何といっても、友人と美味しい食事をしながら、女子？（笑）トークに花を咲かせる時間です。地元の友人、学生時代の友人、ママ友ets…。毎回女子トークが止まらず、あっという間に閉店時間になり、ちょっと追い出される感じで店を出てくる…。（笑）いつもこりずに付き合ってくれる友人に感謝です。

６月の予定

◆お誕生日会＆父の日
１４：００～
各病棟デイルームにて
１病棟　　７日（金）
２病棟　１９日（水）
３病棟　　５日（水）

先月の母の日に続き、頑張ってきたお父さんに感謝を込めて職員一同より父の日を開催します❣